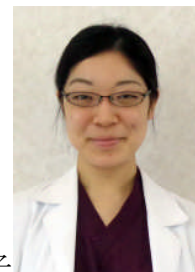


## 和歌山病院での研修を終えて



池田 奈津子

平成 30 年 4 月の 1 か月間、国立病院機構和歌山病院の呼吸器内科で研修させて頂きました。大学病院の呼吸器内科をローテーション中に、同じ呼吸器内科でも、市中病院では大学病院とは全く違った事が学べるとお聞きし、和歌山病院での研修を希望しました。

和歌山病院での研修の大きな特徴として、新患外来を経験させて頂く事ができました。外来担当医として、様々な主訴の新患者さんに問診、診察をし、鑑別をあげ、指導医の先生方に御指導頂きながら、検査、治療を行っていきました。限られた時間の中で方針を立てていくという外来の難しさを初めて経験させて頂きました。外来の診療には専門科に留まらない総合的な知識と素早い判断力が必要だと感じました。また、病棟では主治医として入院患者さんを担当させて頂きました。病棟では、患者さんは勿論のこと、そのご家族の方々とも接する機会が多く、主治医としての責任の重さをより実感する事ができました。疾患としては、肺炎、気管支喘息等の **common disease** の診断、治療に加え、結核の管理を学ぶことができました。また、外来や入院管理を通して、医学的知識だけでなく、患者さんやそのご家族により理解して頂ける病状説明の仕方など、患者さんに寄り添った医師としての姿勢を教えて頂いたことは、とても印象的でした。

和歌山病院では、新患外来や結核管理を特徴とした、他病院では経験出来ない研修をさせて頂く事ができました。丁寧、かつ熱心に御指導くださいました指導医の先生方、外来、病棟業務で大変お世話になりました看護師の皆様、処方相談や、詳しい薬の情報を御指導下さりました薬剤師の先生方、お世話になりました関係者の皆様に感謝申し上げます。